

①アトピー性皮膚炎は どうやって診断するの？

こぐまさんは、かれこれ
半年ほど同じような症状を繰り返していますね。
アトピー性皮膚炎と診断してよい状態です。

でも、これまで何度か受診したときは
「しっしん」という診断でした。
今度はアトピー性皮膚炎になったということですか？
結局、この子は「しっしん」と「アトピー性皮膚炎」
どっちなのでしょう？



今回のこぐまさんのケースのように、
一度の診察だけでは
アトピー性皮膚炎かどうか判断できない
ことが実は多いのです。

どういう状態であれば
「アトピー性皮膚炎」といえるのでしょうか？



そもそも「しっしん」ってなんだろう??

「しっしん(湿疹)」 = 皮膚炎 (dermatitis)

= 「なんらかの刺激に対して、

皮膚が刺激を排除しようと反応して、炎症をおこしている状態」です。

- ・ 皮膚の細胞の間を水浸しにして刺激を薄める
⇒ ジュクジュク、汁っぽくなる、水ぶくれ
- ・ 巨大クレーン(=人間の指・爪)に物理的に取り除いてもらう
⇒ 痒いところを掻く

炎症細胞が皮膚にたくさん集まるとともに、こうした反応が一緒に起こります。

このような状態そのものに「しっしん」という名前がついており、そのまま病名にもなっています。



また「しっしん」には経過によってタイプがあります。

きゅうせいしっしん

①急性湿疹 = 最近始まったばかりの反応

勢いが強く、激しい反応

まんせいしっしん

②慢性湿疹 = こじれて長期戦になった反応

皮膚自体がガサガサ・ゴワゴワした状態になる(苔癬化)^{たいせんか}

皮膚がどの程度の反応を起こすのかは
体質にも左右されるので、人によって違います。





下の図を見て下さい。「しっしん＝皮膚炎」全体を黄色い丸とします。
そのうち、原因がある程度推測される一部の「しっしん」には個別の病名がついています。
実際には、原因がはっきり特定できない「しっしん」が大部分をしめています。
その場合は「しっしん」がそのまま病名として使われることとなります。



では、アトピー性皮膚炎と「しっしん」の違いは？

①アトピー性皮膚炎の定義；

アトピー性皮膚炎とは、

かゆみのある「しっしん」が良くなったり悪くなったりを繰り返す病気である。

※患者の多くはアトピー素因(本人や家族が気管支ぜんそくやアレルギー性鼻炎などの病気をこれまでに合併していたり、IgE抗体を作りやすい体質)をもつ。

②アトピー性皮膚炎の診断基準； 1) 2) 3) を満たすと診断できる

1) かゆみのために掻いている

ある程度の期間繰り返さないと診断できない！

2) 新旧の“しっしん”が左右対称性に分布している

3) 長い期間(1歳以下で2か月以上、それ以上では6か月以上)にわたって

“しっしん”を何度も繰り返す

つまり、アトピー性皮膚炎の患部の
一か所一か所で起こっているのは「しっしん」なのです。

「しっしん」を長い期間にわたって何度も繰り返す、という
全体の状態に「アトピー性皮膚炎」という病名がついているのです。

このように、ある程度の期間症状が続いて初めて
アトピー性皮膚炎と診断することができます。
ですから、それまでの一回一回の症状は
「しっしん」と呼ぶに留めることが多いのです。

なるほど、それでこの子は
今回初めてアトピー性皮膚炎という
診断になったわけですね。

